

平成十七年度漁協運動功労者表彰式



J F 風合瀬

代表理事組合長

山本政廣

平成十七年度（第二十回）漁協運動功労者表彰式が、去る十一月十八日、東京・虎ノ門パストラルにおいて行われた。

始めに、植村正治JF全漁連会長は「厳しく返還極まりない社会・経済情勢の中で漁業・漁村の維持・発展のため、組織ならびに漁業者の先頭に立って長く貢献的な努力をされた受章者の皆さまに敬意と感謝を表する」と主催者の挨拶を述べ、来賓を代表して中川昭一農林水産大臣（金子恭之農林水産大臣政務官代読）が祝辞を述べた。

今回の漁協運動功労章は三十九名の方々が授与された。また、故鈴木善幸元首相に漁協運動

特別功労章が贈られた。

この功労章は、漁協運動のリーダーとして長年活動した功績を顕彰するため、昭和六十一年に制定され、今年度本県からは、山本政廣JF風合瀬漁協組合長が受賞された。



功績の内容

昭和五十二年に風合瀬漁業協同組合理事、平成四年二月から代表理事組合長として優れた指導力と統率力を遺憾なく発揮し、西北地域の漁場清掃、道の駅「かそせいか焼き村」の管理運営等、漁業生産性の向上と組合事業の発展に多大な貢献をしている。また、西北水産振興会会長として、十三湖湖岸のゴミ処理施設の建設計画を中止させる等、漁業環境保全にも貢献している。更に、青森県内の密漁防止について、青森県漁場監視団連合会会長として関係機関と連携を取りながら、積極的に密漁防止対策に取り組み漁業資源の保護に貢献している。